

第3回日本財団WORK! DIVERSITY プロジェクト (2021年度、2022年度の事 業説明)



(一般社団法人)ダイバーシティ就労支援機構 岩田克彦



ダイバーシティ就労支援機構
Japan Organization for Diversity Employment Support

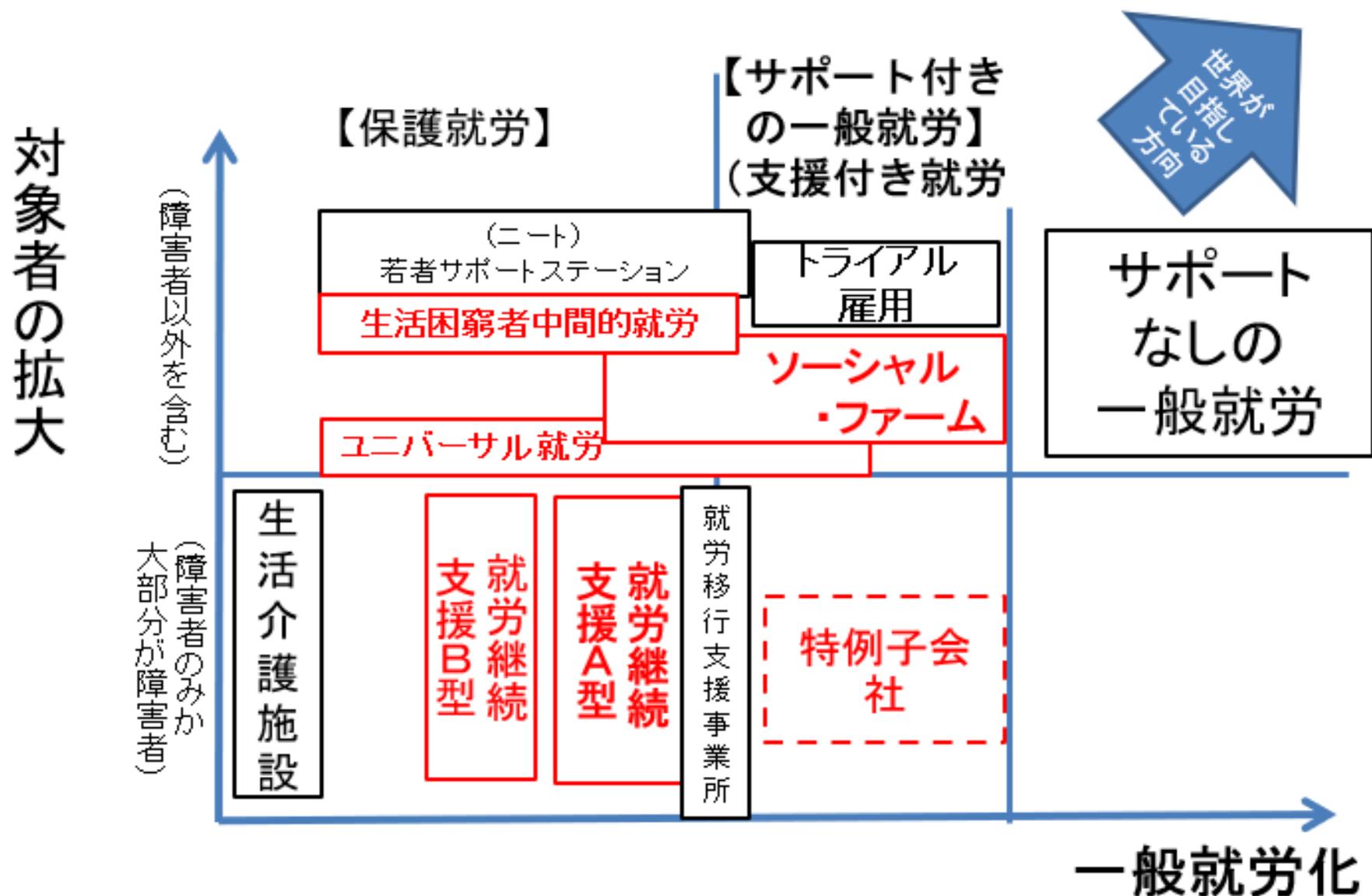
ダイバーシティ就労支援の実現をめざして

日本財団 WORK！DIVERSITYプロジェクト(ダイバーシティ就労支援プロジェクト) 目標とこれまでの取組み

<ダイバーシティ就労支援>

多様な要因で就労困難な状況にある人々向けに、多様な（良質な）働く場が多様な形で整備され、実際働く人々が増えることを実現するための支援

各就労類型の位置関係



2021年度の検討

1. 企画委員会、各部会での検討
2. 有識者公開連続講演会の開催
3. 日本財団第3回 **WORK ! DIVERSITY**カンファレンスの開催
4. 障害者就労支援機関に係る実態調査の実施

日本財団WDプロジェクトの委員会・部会構成

全体委員会

(※) プロジェクトの活動に大所高所から助言

企画委員会

(※) 各部会の議論を統括

経済・財政・社会保障
収支・労働需給
バランス検討部会

(※) 経済・財政・社会
保障収支・労働需給バ
ランスと働きづらさを抱え
る者の就労促進との関係
を分析

海外状況 整理部会

(※) 海外諸国の
就労困難者支援
状況を調査・整理

(2021年3月設置)
態様の異なる就労困難者
への横断的支援方策検討
総合部会

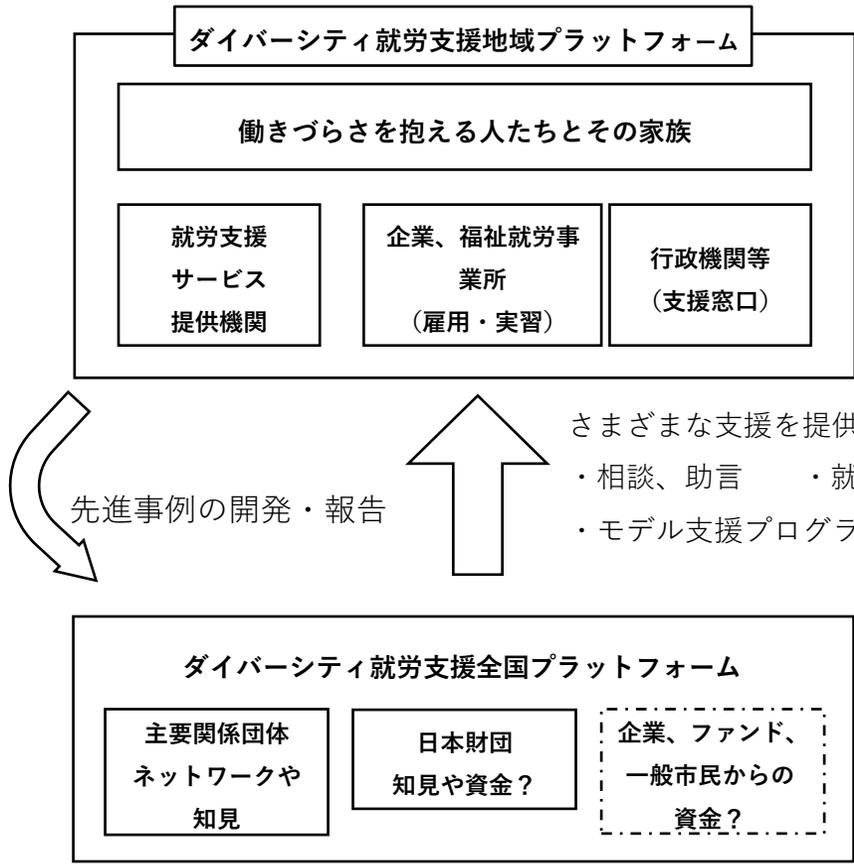
(2021年7月設置)
WORK !DIVERSITY
ネットワーク構築部会

各部会での検討（1）

1. ダイバーシティ就労支援ネットワーク構築検討部会（ネットワーク構築部会）
2. 態様の異なる就労困難者への横断的支援検討部会（横断的支援検討部会）

ダイバーシティ就労支援ネットワーク構想（イメージ図）

出所「2020年度日本財団WORK! DIVERSITY プロジェクト総合報告書」p11



ダイバーシティ就労支援地域プラットフォーム

都道府県レベル（少なくとも、複数市区レベル）では、地域プラットフォームを構築し、地域支援機関、就労事業所（企業、福祉事業所）、就労困難者（本人、家族、当事者団体）、自治体・行政機関の調整・協働支援を行う。

さまざまな支援を提供
・相談、助言 ・就労支援機関情報 ・先進事例、専門家リスト
・モデル支援プログラム、モデルキャリアラダー（・資金？）

ダイバーシティ就労支援全国プラットフォーム

地方での取組みを支援するため、主要関係団体を巻き込むフォーラムを構築し、相談・助言、就労支援機関情報・先進事例・専門家リスト・モデル支援プログラム・モデルキャリアラダー（キャリアのはしご）等地方の取り組みを支援するツール・情報を開発・提供する。

各部会での検討（2）

3. 「経済・財政・社会保障・労働需給バランス」検討部会（バランス部会）

「バランス」部会は、就労困難な方々と経済・財政・社会保障収支や労働需給バランスとの関係を分析する部会です。ダイバーシティ就労を推進することで、施策支出そのものは増加するが、税・社会保険料は増え、医療・福祉関係の支出が減少することで、財政・社会保障収支は改善することが期待されます。

4. 海外状況整理部会

海外状況整理部会は、主要国の障害者をはじめ、生活困窮者その他の就労困難な方々に対する就業対策、障害者以外を含むダイバーシティ就労化の動向等をまとめ、プロジェクトの検討に資する成果をまとめる部会です。**2021**年度は、**3**年間の検討の総合報告をまとめる予定です。

9 日本財団**WORK ! DIVERSITY** プロジェクト 2022年度実施事業（案）

- **WORK ! DIVERSITY**地域ネットワークの構築支援
- ダイバーシティ就労支援スタッフ養成研修の試行
- 横断的なダイバーシティ就労施策の実現に向けた提案
- 日本財団第4回**WORK ! DIVERSITY**カンファレンス、公開有識者講演会の開催